

平成 25 年 12 月吉日

山梨市長 竹越 久高 殿

山梨市万力 1830 山梨市民会館内
公益社団法人山梨青年会議所
2013 年度理事長 佐野友樹 ㊞

市内市民グラウンドの芝生化に関する要望書

師走の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は当青年会議所活動に際し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2014 年度初頭に、竹越市長が進める 2013 年度の大規模事業である「小原スポーツ広場」が整備され、市民のスポーツ環境への関心も高まっているときであると思います。よって、僭越ではございますが、当会として次の事項について要望いたします。

【要望事項】

○山梨市内グラウンドの芝生化

【活動の経緯と要望理由】

公益社団法人山梨青年会議所では、市内各市民グラウンドで行うスポーツや、市民の生涯スポーツの為の環境整備を考え、まずは山梨市民スポーツ広場の芝生化へ向け「八幡グラウンド芝生化プロジェクト」と称して市民の機運を高める運動を進めてまいりました。

○2020 年東京オリンピックも控え、市民のスポーツへの関心も高まっている時であると考えます。その中で芝生化することで利用者の増加、それによる地域の活性化、利用料収入の増加などが期待できます。

○子供達を幼少の頃より芝生で遊ばせることでの運動能力の向上や、自然と触れ合う機会が増える事による情操教育等の波及効果も多大に影響があると考えられております。

○芝生のグラウンドにする事による怪我の軽減、重症化の防止、小学校や中学校のグラウンドの芝生化にする事で児童の外に出てくる切っ掛けづくりなど、健康な体づくりを行う上でまずは外へ出てくる機会が増えるなど、重要な要素となることが考えられます。

- 現在、文部科学省のスポーツ政策の中にある「スポーツ振興くじ」を利用した芝生化の動きも、全国的に広がってきておりますので、補助金を活用し市の財政負担を少なくした中でグラウンドの芝生化を是非ご検討ください。
- 芝生化後の芝生の管理についてですが、まずはどのレベルの芝生を維持していくのか、管理していくのかを判断していく必要があると考えます。私ども公益社団法人山梨青年会議所で、平成 25 年 9 月 29 日にヴァンフォーレ甲府の佐久間GMをお招きし芝生化へ向けた講演会を開催いたしました。他、山梨県内の幼稚園・保育園の園庭芝生化活動を進められている山梨大学の加藤准教授、山梨市に本拠地を置き活動しているラグビーチームのT O S E Nクリーンファーターズ日原監督の 3 名の方にパネルディスカッションをしていただきました（※講演要旨別添）その中で、トッププロのヴァンフォーレ甲府の芝生管理は年間 1200 万円から 1300 万円、T O S E Nでは年間 500 万円。山梨大学のグラウンドは年間 30 万円という費用の差が多く出ています。
- 山梨市に芝生グラウンドを作る場合。山梨大学のグラウンドレベルと同等でよいと考えます。山梨大学では、学生の授業の一環として芝生グラウンドの管理も自分達で行っています。パネルディスカッションの中で、加藤准教授は「山梨市に天然芝のグラウンドが出来るのであれば、山梨大学の学生と子供達とシルバーと地元の人たちで作りに上げるグラウンドが出来れば夢がある」と述べられております。管理に関しては、山梨大学も山梨市が芝生化を進めるのであれば是非と協力したいと言っております。新しい官学協働の事業として検討していただきたいとも思います。
- 芝生のグラウンドがあることで生まれる新しい「観光」もあると思います。佐久間GMも積極的な活動として、芝生のグラウンドを使った大会の誘致を行っているそうです。その中に山梨市が入っていければ、使用料の中から管理料を捻出することができると思います。
- 芝生グラウンドを使用した合宿となれば、山梨市内民宿・温泉・観光と波及効果も出てくると考えます。特に三富の市民グラウンドを利用した場合、夏場の合宿地として気候も適した地域であり、東京から車でも電車でも 1 時間半の立地を考えれば、東京や関東近県の大学生サークルや部活、社会人のスポーツチームの誘致も検討することができると思います。
- 以上、この山梨市でもグラウンドの芝生化をご検討いただけますよう、山梨市内外の市民より集めた署名と共に提出いたします。よろしくお願い申し上げます。